

報道関係各位

大学生の自宅学習時間がコロナ禍で大きく増加

一般社団法人
大学 IR コンソーシアム

ポイント

- ・大学 IR コンソーシアムが実施する日本で最大規模の大学生学習状況調査の結果が公表され、例年データに比べて、大きな変化があったことが明らかになった。
- ・1年生が準備学習にかけた時間は週あたり 4.48 時間(2019 年)から 7.00 時間に増加した。
- ・総じて、大学に不慣れな 1 年生が大きな影響を受けたことと、予復習などの授業外学習時間が増えたことが 2020 年度の学生調査結果の特徴である。

概要

大学 IR コンソーシアム 2020 年度学習状況調査(大学生 80,662 人)が公表され、大学に不慣れな 1 年生が大きな影響を受けた事、予復習等の授業外学習時間が増えた事が明らかになった。

本コンソーシアムは、2012 年 9 月任意団体として発足し、2018 年 4 月からは一般社団法人として活動しており、現在 60 校が参加し、1 年生と上級生(2~4 年生のいずれか、多くは 3 年生)を合わせて毎年 10 万名近い学生がアンケート調査に協力している。調査項目は学生の学習行動、学習時間、能力に関する自己評価、満足度等であり、日本の大学生の平均像を知ることができる。

昨年度は 55 校から、1 年生 38,536 名、上級生 42,126 名が参加した。どの項目も 2019 年までの経年変化は小さいが、2020 年度はコロナ禍の影響で大きく変化した項目があった。

設問	2016	2017	2018	2019	2020
Q6A 授業や実験に出る	15.92	16.10	16.07	16.03	12.35
Q6B 授業時間外に、授業課題や準備学習、復習をする	4.15	4.31	4.47	4.48	7.00
Q6C 授業時間外に、授業に関連しない勉強をする	1.59	1.67	1.73	1.76	1.67
Q6D オフィスアワーなど、授業時間外に教員と面談する	0.35	0.39	0.42	0.40	0.22
Q6E 部活動や同好会に参加する	4.61	4.51	4.43	4.31	1.81
Q6F 大学外でアルバイトや仕事をする	8.68	8.92	8.91	8.94	7.01
Q6G 読書をする(マンガ・雑誌を除く)	1.67	1.71	1.68	1.58	1.46
Q6H 個人的な趣味活動をする(テレビやゲーム、映画鑑賞など)	7.63	7.89	7.85	8.27	8.40
合計(Q6A~Hの合計)	44.60	45.49	45.55	45.77	39.92

表 1. 大学 1 年生の週あたり時間の使い方(表は「全然ない=0, 1 時間未満=0.5, 1-2 時間=1.5, 3-5 時間=4, 6-10 時間=8, 11-15 時間=13, 16-20 時間=18, 20 時間以上=20」としたときの平均時間を示す。)

1 年生の準備学習にかけた時間は週あたり 4.48 時間(2019 年)から 7.00 時間に増加した(表 1)。授業や実験に出る時間、部活動や同好会に参加する時間、アルバイトにかけた時間が大きく減少した。上級生(多くは 3 年生)もほぼ類似の傾向であった。授業外学習時間と成績(GPA)のクロス集計からは、授業外学習時間が長い学生ほど GPA が高いことが示された。

1 年生では、文書能力とコンピュータを扱う能力は増大し、授業をつまらなく感じる頻度が減少した。一方で時間の使い方からは他人との接触機会が減ったことが推測され、そのため人間関係の構築、協力して作業する、コミュニケーション力、プレゼンテーション力が低下した。現在、多くの大学で対面とオンラインを混合したハイブリッド教育を採用するなどして、これらの欠点を補うような対策が進められており、今年度の調査では改善されることが期待されている。

詳しい報告、数値データは以下のホームページを参照してください。

<https://irnw.jp/newsblog/news/2020>

【お問合せ先】大学 IR コンソーシアム 事務局 森岡
大阪市都島区東野田町 5 丁目 2 番 23 号 京橋セントラルビル
TEL 06-4397-4188 Mail jimu@irnw.jp
HP <https://irnw.jp>